

「最近の基礎工法」の発刊と頒価改訂について

昭和 37 年度夏期講習会は、“最近の基礎工法”と題して 8 月 30 (木), 31 (金) の両日, 厚生年金会館 (東京都新宿区番衆町 19, Tel. 351-1111) で行なわれますが, 聴講希望者は 700 名に達し非常な盛会が予想されております。講習会のために特に作成した「最近の基礎工法」は図面の作成に予想以上の手間と莫大な経費をついやし, 執筆者各位の熱意により予定ページ数を 100 ページも突破したことなど内容の充実にともない, やむを得ずすでに発表した頒価を改訂させていただくことになりましたのでご承願いたします。

記

改訂価格：定 価 800 円 を 1000 円 (千 120 円) 会員特価 600 円 を 800 円 (千 120 円)

改訂ページ数：B 5 判 330 ページ 上製本 付図および図表・写真多数

内 容：●基礎地盤の調査/三木五三郎 ●基礎施工法と土質/最上武雄 ●鋼くい基礎/大崎順彦 ●基礎工事の機械化/中島 武 ●軟弱地盤上の盛土築堤の基礎と基礎地盤の安定処理/竹中準之介 ●国鉄新幹線の基礎/池原武一郎 ●名神高速道路の基礎/高橋脩一 ●地下鉄施工法/西嶋国造 ●ダムとの基礎とその改良工法/村幸雄 ●ダムの岩盤基礎/広田孝一 ●付図・日本沖積層分布図

第 11 回 関東地区学生諸君のための映画会

定例による建設技術フィルム ライブラリーと共催の第 11 回関東地区学生諸君のための映画会を下記のとおり開催いたしますから多数ご来会下さい。一般会員の方のご来会も歓迎いたします (入場無料)。

1. 開催日時：1962 年 9 月 15 日 (第 3 土曜日) 14.30~16.30
2. 会 場：土木学会会議室 (東京都新宿区四谷一丁目・外濠公園入口)
3. 上映映画：1. 地図 2. 奥只見ダム第 1 部 3. 名神高速道路山科工事または真管式基礎工法

L. Escande 教授講演会開催について

フランス水理工学者フランス学士院会員 L. Escande 教授がフランス外務省から日仏工業技術交流の公式使命をおびて日仏工業技術会の招へいにより来日されますので, 当学会は日仏工業技術会と共催で下記講演会を開催することになりました。ふるってご参加下さい。

1. 日 時：1962 年 9 月 13 日 (木) 13.30~16.00
2. 場 所：日本化学会講堂 (東京都千代田区神田駿河台 1 の 5 ・電 291-4184~5, お茶の水駅下車・明治大学大学院隣り)
3. 題 目：①洪水吐構造物についての研究 (スライド 88 枚)
②大きな水理構造物 (主としてダム, 取水口等について) における境界層吸込みによる流況の変化について (スライド 48 枚)

なお, 参考として同教授の日本における講演日程を付記します。

| | | |
|---------------------------|----------------------|----------------------|
| 第 1 回 9 月 10 日 午後 札幌 | 第 3 回 9 月 14 日 午後 東京 | 第 5 回 9 月 18 日 午後 京都 |
| 第 2 回 9 月 13 日 午後 東京 (共催) | 第 4 回 9 月 17 日 午後 京都 | 第 6 回 9 月 21 日 午後 東京 |

放射線シンポジウム開催について

標記のシンポジウムを下記のとおり開催いたしますので, ふるってご参加下さい。

1. 日 時：1962 年 10 月 11 日 (木) 13.00~17.00
2. 主 題：放射線機器の土木工事への応用
3. 場 所：神戸大学工学部

4. 講演題目：

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| ① 土木工学に利用されている放射線利用機器について | 阪大生産研 池田幸次郎 (30 分) |
| ② 土木応用における被測定物の影響 | 日立中央研 石松 健二 (30 分) |
| ③ 地盤の調査への応用 | 電力中央研 大野 博教 (30 分) |
| ④ 高速道路建設への応用 | 日本道路公団 井上 元武 (30 分) |
| ⑤ 未 定 | 神戸工業 未 定 (30 分) |

ACI National Meetings (1962~1967) の開催予定

つきのとおり予定が発表されましたのでお知らせいたします。

| Year | Annual Convention | Fall Convention |
|------|---|---|
| 1962 | Already held | Sept. 27-29 Olympic Hotel Seattle, Wash. |
| 1963 | Mar. 4-7 Atlanta Biltmore Hotel Atlanta, Ga. | Nov. 11-14 Royal York Hotel Toronto, Ont., Canada |
| 1964 | Mar. 2-5 Rice Hotel Houston, Texas | Nov. 11-13 DuPont Plaza Hotel Miami, Fla. |
| 1965 | Mar. 1-4 Sheraton Palace San Francisco, Calif. | Nov. 2-5 Statler Hilton Hotel Cleveland, Ohio |
| 1966 | Mar. 7-10 Benjamin Franklin Hotel Philadelphia, Pa. | Not yet scheduled |
| 1967 | Apr. 2-7 Royal York Hotel Toronto, Ont., Canada | Not yet scheduled |

第 12 回 応用力学連合講演会

共 催：日本学術会議力学研究連絡委員会，応用物理学会，造船協会，土木学会，日本機械学会，日本建築学会，日本航空学会，日本数学会，日本物理学会

例年のとおり標記の講演会が行なわれますが，紙面の都合上，土木学会受付の 19 編をばっすいしてお知らせいたします。全体のプログラムをご希望の方は，学会あてお申し込み下さい。

1. と き：1962 年 9 月 6 日（木）～8 日（土）
2. と ころ：東京大学工学部第 2 号館（東京都文京区本富士町）
3. 講演部門：第 I 部・弾性学，塑性学，構造力学，材料力学，土の力学 等
 第 II 部・流体力学，空気力学，水力学，水理学，気象学，潤滑 等
 第 III 部・熱，熱力学，熱伝達，燃焼 等
 第 IV 部・一般力学，振動，波動，応用数学，自動制御，計算機 等
4. 日程表：(I),(II),(III),(IV) は講演部門を示す。

| 開催日 | 時刻 | 学術講演・特別講演・懇親会 | | | |
|-----|-------------|-------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | | 第 1 室 第 21 講義室 | 第 2 室 第 22 講義室 | 第 3 室 第 25 講義室 | 第 4 室 第 26 講義室 |
| 6 日 | 9.00~12.10 | (I) 101~109 | (I) 137~145 | (II) 201~207 | (IV) 401~406 |
| | 13.00~16.50 | (I) 110~119 | (I) 146~154 | (II) 208~214 | (IV) 407~417 |
| 7 日 | 9.00~11.50 | (I) 120~127 | | (II) 215~221 | (IV) 418~425 |
| | 13.00~15.50 | 特別講演（工学部大講堂） | | | |
| | 17.00~19.00 | 懇親会（医学部図書館食堂）会費 300 円（ビール，軽食） | | | |
| 8 日 | 9.00~12.10 | (I) 128~136 | | (III) 301~308 | (IV) 426~432 |

5. 特別講演：

| 開催日 | 時刻 | 題目・講演者 | |
|-----|-------------|----------------------------|-------------------|
| 7 日 | 13.00~14.20 | Navier-Stokes 方程式の解の存在について | 東京大学助教授 理博 伊藤 清三君 |
| | 14.30~15.50 | 最近の土質力学 | 東京大学教授 工博 最上 武雄君 |

6. 講演：19編（土木学会受付）

| 期 日 | 会 場 | 講 演 番 号 | 講 演 時 間 | 題 目 | 講 演 者 |
|-----|-----|---------|-------------|--|------------------------------------|
| 6日 | 1室 | 105 | 10.20~10.40 | 乱された土の引張試験について | 防衛大 長谷川 博・池内 正幸・○小林 靖尚 |
| 〃 | 〃 | 106 | 10.50~11.10 | 傾斜層を有する半無限体の一解法 | 電 研 ○色部 誠・高野 博 |
| 〃 | 〃 | 111 | 13.20~13.40 | 塑性ヒンジの安定について | 阪市大 倉田 宗章・○加藤 正之 |
| 〃 | 2室 | 139 | 9.40~10.00 | 異形平板の曲げについて | 阪市大 倉田 宗章・○波多野昭吾 |
| 〃 | 〃 | 140 | 10.00~10.20 | 曲線板の Model Analysis | 阪市大 倉田 宗章・岡村 宏一・○松井啓之輔 |
| 〃 | 〃 | 141 | 10.20~10.40 | 曲線直交異方性変厚扇形平板の解法とその 曲線格子桁解析への応用 | 北 大 芳村 仁 |
| 〃 | 〃 | 142 | 10.50~11.10 | 平板構造物の近似解法 | 阪市大 倉田 宗章・○岡村 宏一 |
| 〃 | 〃 | 152 | 15.10~15.30 | アーチ部材をもつ不完全剛結ラーメンの解法 | 九 大 山崎 徳也 |
| 〃 | 〃 | 153 | 15.30~15.50 | アーチの横方向の剛性について | 東 大 平井 敦・伊藤 学・○深沢 泰晴 |
| 〃 | 3室 | 201 | 9.00~ 9.20 | 成層状密度分布をもつ乱流内の変動流速および 塩分輸送量 | 京 大 南 勲 |
| 7日 | 1室 | 124 | 10.20~10.40 | 高さを考慮する単純桁の光弾性模型実験による たわみと応力度分布に関する研究 | 室蘭工大○中村作太郎・番匠 勲 |
| 8日 | 〃 | 128 | 9.00~ 9.20 | 3個の集中荷重からなる連行荷重の絶対最大曲げ モーメントの判定法 | 防衛大 長谷川 博 |
| 〃 | 〃 | 129 | 9.20~ 9.40 | トラス橋床組の荷重分配について | 京大工業教員養成 米沢 博 |
| 〃 | 〃 | 130 | 9.40~10.00 | 応用力学における「固有マトリックス法」 | 信州大 谷本勉之助 |
| 〃 | 〃 | 131 | 10.00~10.20 | 梁のたわみに関する表現方法について | 極東設計 石川 時信 |
| 〃 | 〃 | 133 | 10.50~11.10 | 直交アングル接合部の弾性変形（不完全剛結特性） | 九 大 山崎 徳也・国 鉄 ○榎木 武 |
| 〃 | 〃 | 134 | 11.10~11.30 | 溶接箱形断面の塑性座屈について | 東 大 奥村 敏恵・桜田機械 前田 幸雄 東 大 ○鈴木 康弘 |
| 〃 | 〃 | 135 | 11.30~11.50 | 積分方程式による変断面柱の座屈荷重の計算法 | 京大院 高岡 宣善 |

7. 講演論文抄録集：

下記により論文抄録集（前刷）を実費で予約頒布いたします。部数に限度がありますから、なるべく早めに代金を添えて学会にお申し込み下さい。

8. 申込締切期限：8月20日（月）

| 種 別 | 第 I 部 | 第 II 部 ・ 第 III 部 合 冊 | 第 IV 部 |
|-----------------------|--------------------|---------------------------|---------------------------|
| 内 容 | 弾性学、塑性学、構造力学、土の力学等 | 流体力学、空気力学、水力学、水理学、気象学、潤滑等 | 一般力学、振動、波動、応用数学、自動制御、計算機等 |
| 講演 題数 番号 | 54 題 101~154 | 21 題 201~221 | 8 題 301~308 |
| 額 価 | 400 円 | 300 円 | 300 円 |
| 全 3 冊 計 1,000 円（送料とも） | | | |

北 海 道 支 部 行 事 案 内

（札幌市平岸・北海道開発局 土木試験所研修係内・電 札幌 83—4161~4164）

秋 期 見 学 会 開 催 に つ い て

秋の見学会を土木学会本部と共催で次のとおり開催致しますので、全国各地よりふるってご参加下さるようおすすめいたします。

1. 期 日：1962年9月28日（金）、29日（土）の2日間

2. 日 程：

第1日 9.00 道庁正門広場集合～9.30 同所出発～11.30 苫小牧工業港着、見学、昼食～13.00 同所出発～14.30 室蘭市着、同市周辺の工事見学、観光～16.00 同市出発～17.30 洞爺湖温泉着1泊（途中国道改良工事見学）

第2日 9.30 洞爺湖温泉発～10.30 喜茂別町着（羊蹄山麓）クレドール工場見学～11.30 同町発～12.00 中山峠トンネル着見学、昼食～14.00 中山峠、トンネル発～16.30 定山溪を経て札幌帰着

3. 参 加 料：1 500 円

4. 参加定員：60名（先着順）

5. 申込期限：9月10日 厳守

6. 申込方法：

1) 会員資格・氏名・勤務先・連絡先等を明記し会費を添えて土木学会本部（東京都新宿区四谷一丁目）、または土木学会北海道支部へお申込み下さい。

2) 詳細は北海道支部（札幌市平岸土木試験所研修係 電話 83—4161 内線 13）へお問合せ下さい。

中 部 支 部 行 事 案 内

(名古屋市中村区笹島町1丁目・近畿日本鉄道KK名古屋営業局技術部内・電 名古屋 笹島 54-3331)

支 部 講 演 会 開 催 に つ い て

下記のとおり中部支部で講演会を開催いたしますので、多数ご来聴下さいませようお願いいたします。

1. 日 時：1962年8月22日(水) 13.00~17.00
2. 場 所：名古屋市中村区広井町 2~54 交通ビル9階ホール
3. 演題および講師：

| | | |
|-------------------|-----------------|-------|
| ① コンクリートのクラック雑感 | 清水建設KK名古屋支店営業所長 | 市田 洋 |
| ② 犬山モノレール工事について | 鹿島建設KK本社技術開発部次長 | 山本 安一 |
| ③ レオンハルト工法とその施工 | 大成建設KK研究部 | 只野 直典 |
| ④ 御母衣ダムと大白川ダムについて | 間組御母衣ダム建設所長 | 都木 清 |

関 西 支 部 行 事 案 内

(大阪市東区京橋3丁目70番地、大阪建設会館内 電 大阪 941-3651~3, 振替口座 大阪 82599 番)

(1) 防災ブロックに関する研究

1. 日 時：1962年10月4日(木) 13.00~17.00
2. 場 所：大阪建設会館6階集会室 (大阪市東区京橋3丁目70番地
市電停、天神橋下車、天神橋南詰東側)
3. 題目と講師：

| | | | |
|-------------|-------------------|-------------------|-------|
| 13.00~14.00 | ① 防災ブロック積の施工について | 滋賀県土木部河港課利水港湾係長 | 大柳 義雄 |
| 14.00~16.30 | ② 各種防災ブロックの特徴について | 全国コンクリート製品協会関西支部長 | 関本 健一 |
| 16.30~17.00 | 質疑応答 | | |
4. 定 員：130名(会員に限る)
5. 参 加 費：無料(参加者には参加章をお送りします)
6. 申 込 期 限：1962年9月22日(土)
7. 申 込 方 法：参加希望者は勤務先、連絡先および氏名を明記して9月22日(土)までに土木学会関西支部へ申込んで下さい。ただし申込期限内でも定員に達した時は先着順で決めますから早く申込んで下さい。参加者には参加章をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。

(2) 技術講座1号(航空写真測量)

1. 日 時：1962年9月20日(木) 10.00~17.00
2. 場 所：美陵町公民館(大阪府南河内郡美陵町岡、近鉄南大阪線藤井寺駅下車駅前 電 阪南(5)332)
その他の詳細については学会誌7月号を御覧下さい。

西 部 支 部 行 事 案 内

(福岡市福岡町・運輸省博多港工事事務所内・電 博多 74-6538)

夏 季 講 習 会 開 催 に つ い て

下記のとおり西部支部で講習会を開催いたしますので、多数ご出席下さるようお願いいたします。

1. 主 催：土木学会西部支部・土質工学会九州支部 共催
2. 日 時：1962年8月23日、24日
3. 場 所：大分県玖珠郡飯田小学校
4. 見 学：別府阿蘇道路
5. 講 演：

| | | |
|------------------------------|-------------------------------|-------|
| ① 大分県の土木事業について | 大分県土木部長 | 松垣 光 |
| ② 別府阿蘇道路工事について | 日本道路公団福岡支社工事部設計課技師 | 小田 淳 |
| ③ 九州横断道路における土質工学的諸問題 | 九州大学助教授 | 山内 豊聡 |
| ④ プレバクト コンクリートについて | 運輸省小倉調査設計事務所長 | 木葉 宏美 |
| ⑤ 橋梁史の1ページより | 九州大学教授 | 村上 正 |
| ⑥ 一級国道の維持管理について | 九州建設局道路管理課長 | 野崎 次雄 |
| | 福岡国道工事事務所管理課長 | 上森 隆 |
| ⑦ 光弾性実験法の土木工学への応用 | 熊本大学助教授 | 川本 隆方 |
| ⑧ 隧道の支保工について | 八幡製鉄所技術サービス課 | 松崎 泰憲 |
| ⑨ 一ツ瀬ダム コンクリートの配合設計と品質管理について | 九州電力KK一ツ瀬水力発電建設所 コンクリート試験室 | 富永 正臣 |
6. 申 込 期 限：1962年8月10日